（別紙４）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	成田市こども発達支援センター			
○保護者評価実施期間	令和6年12月3日		～	令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	5	（回答者数）	2
○従業者評価実施期間	令和6年12月3日		～	令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	22	（回答者数）	22
○訪問先施設評価実施期間	令和6年12月3日		～	令和7年1月31日
○訪問先施設評価有効回答数	（対象数）	5	（回答数）	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月4日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	公設の施設であり、市内の保育園等とは、比較的連携が容易に実施できると考えます。	ケース相談については、可能な限り早期に訪問できるよう調整をしております。また、相談内容によって、専門職（心理士・作業療法士・言語聴覚士）の訪問を行っております。	参加型の勉強会の他、Ｚoomを活用した専門職による発達の勉強会を企画し、知識を得られる機会を提供します。
2	相互の職員の人事異動等を通して、保育や、療育状況の理解がが可能です。	保育環境に合わせた提案ができるよう努めております。	保育園からの依頼を受け入れ、実際の療育の見学を実施して、日々の保育と連携できるように働きかけております。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	指導の時間が、実施している療育と重複するため、訪問の実施可能な日に制限があります。	職員の人員配置や、専任の職員の配置が出来ていない等、業務の兼務が要因となっております。	人員配置については市に要望してまいります。
2			
3			